

議会活性化特別委員会 報告

1. 委員構成

委員長：今津和喜夫
副委員長：南出貞子
委員：東野真樹、中川敬雄、上田朋和、辰川志郎、稲垣清也

2. 調査目的

議会改革、広報・広聴に関する調査研究

3. 調査期間

令和2年9月25日～令和3年9月14日

4. 委員会等開催状況

	委員会	意見交換会	行政視察
令和2年	3回	0回	0回
令和3年	6回	1回	0回
合計	9回	1回	0回

5. 協議事項件数

24件（令和2年：10件、令和3年：14件）

6. 意見交換会

- ◆1月20日 子育て世代を対象とした意見交換会
（NPO法人かもママとのオンライントーク）
「議会活動について、分かった点、分からない点」
「若者・女性に議会へ興味・関心を持たせるには」など



NPO法人かもママとのオンライントーク
（令和3年1月）

7. 行政視察

- ◆新型コロナウイルス感染症の影響により視察中止。

8. 主な取組事項

① 広報媒体（YouTube）を活用した加賀市議会の取組の発信

広報部会が中心となり、市民の議会への興味、関心をより一層高めるため、YouTubeを活用した議会広報番組「教えて！加賀市議会」を計画的に制作し、配信していくこととした。

今任期においては、常任委員会、特別委員会、新型コロナウイルス対策などの内容について配信した。



② ホームページの刷新

広報部会でレイアウト等について協議し、令和3年7月1日にリニューアルしたホームページの運用を開始した。スマートフォンへの対応や、視覚障がいの方への配慮として、サイト内音声読み上げ機能の導入などアクセシビリティ（閲覧のしやすさ）に対応した形で運用している。



③ 議会に関する市民アンケート調査の実施と調査結果の活用

市民アンケートを分析した結果、市民が議会の取組で期待しているものについては、「議会だよりの充実等」のほか、「議会報告会の開催」、「意見交換会や市民アンケートの実施」が上位であった。

分析結果を踏まえ、議会だよりをより一層充実させることやオンライン形式による意見交換会の開催などに取り組んだ。今後は、若年層への議会の関心度を高めるための取組が必要と思われる。次回は4年後をめどにアンケート調査を実施する予定である。

④ 議会モニター員からの意見の反映

令和元年度及び令和2年度において、市内各地区、女性団体、産業団体などの御協力の下、議会傍聴等を通して議会運営全般について、意見や提案を頂いた。重複質問を避けるため、質問内容を事前に調整できる仕組みづくりや、委員会資料を議会ホームページへ事前に掲載するなど、議会モニター員の声を反映した議会運営の推進に取り組んできた。

⑤ 予算決算委員会における総括質疑の在り方

予算決算委員会の総括質疑の運用の在り方について、他市の実施状況を参考にしながら質疑時間や質疑内容などの運用方法の見直しを検討した。今後は、予算決算委員会理事会等で改めて協議することを議長に提案した。

9. 調査の結果

本委員会では、この間、9回の会議を開き、議会活性化に向けた議論や調査を重ね、着実に実行してきた。

しかしながら、いまだ収束の見込みが立たない新型コロナウイルスの蔓延は、議会活動にも大きな影響を与えている。感染状況を踏まえ、議会報告会を中止するなど、市民との意見交換会の開催が難しい状況が今なお続いており、「市民が参加する議会」として課題は多い。

こうしたコロナ禍においても、市民に評価、期待される議会を目指し、状況に応じた取組を進めていくことが必要と考える。

よって、次期委員会でも本委員会でもまとめた申し送り事項等を踏まえ、議会基本条例の趣旨に則り、加賀市議会の活性化に向けたより一層の取組を期待する。